

令和元年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和元年 11月5日（火）	市民学習センター	13:30～14:30	11	4	15

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会 （秘書課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

今回は日中の開催について地区からご要望があり、この時間に設定させていただいた。本年度の施政方針における基本方針は「連携の充実と発信」である。「連携の強化」「連携の進化（深化）」に続き本年度も「連携」をキーワードとしている。近隣市町、県、国、市民や民間団体との連携の他、市の政策間連携などを深め、それを効果的に発信すべく取り組んでいる。

・SDGs（持続可能な開発目標）に着目

今年度からこの連携にかかる考え方として新たに、SDGsを取り入れている。これは2015年に国連で採択された、2030年までに全世界一緒に達成することとされた17の目標である。その中には日本においては既に達成されているものや、市政に馴染まないものもあるが、先進国共通の課題なども含まれており、地方自治体においても世界的な広い視野・考え方のもとにもう一度市の施策を見つめ直そうという狙いがある。また連携を進める上で、連携する様々な団体との共通の指標・物差しとしてSDGsを掲げ、連携を具体的に進めるために行うものである。まず市役所から、各事業が17の目標のどれに該当するかを意識しながら進めている。

・萩・石見空港の利活用

益田市として永続的な課題である。東京線は平成26年から現在の1日2往復が復活したが、これを継続するため、より一層の利用を促進する必要がある。今年度末でいったん期限切れとなる予定だったが、発着枠増加を受けて来年度上半期まで延長され、その後の枠を決めるためのコンテストが今年度いっぱい予定で行われる。近隣市町やANAとの連携を強化し、引き続いて発着枠獲得を目指していきたい。そのために搭乗者数の目標を徐々に高めながら取り組んでおり、目標達成はまだないものの搭乗者数は伸びており、昨年度は過去最高となった。今年度もさらに高い目標を目指しており、また大阪線についても、現在の期間限定運航から、以前のように通年運航に戻したいと考えている。市民の皆さまのご理解ご協力をお願いしたい。

・ひとづくりと人材確保

平成28年3月に「ひとづくり協働構想」という総合的な計画を策定した。先に定めた「総合戦略」に基づく人口減少対策の中でも人材の育成と確保を重要視しており、地域・しごと・未来を担うひとづくりという3本柱で進めている。文部科学省や他の自治体から注目される事業として「カタリバ（注）」がある。参加する企業にとっても社員研修の一環として認知いただき、継続して関与頂いている企業があり、市の若い職員も参加している。また、高校生が語る側となる小中学生への応用展開の試みは益田市独自のものとして、対外的にも発信している。

（注）「カタリバ」：高校生と、若い地元社会人とがひざ詰めで語らう機会を設ける事業。交流を通して高校生は自分の進路と地元について考える機会を、社会人は地域人として自分を見つめ直す機会を得ることができ、独自のキャリア教育として注目されている。

- 意見交換
質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① CO₂削減の取り組みについて
- ② ハザードマップについて
- ③ 駅南北連絡通路について
- ④ 萩・石見空港の防災拠点化について
- ⑤ 語り合う会の現状について
- ⑥ 国営開発農地分担金の時効消滅について
- ⑦ 高齢者の社会参加推進策について
- ⑧ 市名誤記の問題について
- ⑨ 柿本人麿顕彰施設について
- ⑩ 市役所裏の照明について
- ⑪ 防災施設等の設置場所について

- 閉 会 （秘書課長）

令和元年度「市長と語り合う会」

〔会場 市民学習センター〕 開催日時：令和元年11月5日（火）13:30～14:30

要 望 事 項 等	回 答
<p>① CO₂削減の取り組みについて 自然災害の多発は気候変動の影響が大きいと思う。ノーマイカーデーの取組等があるが、職員の認識はどうなっているのか。</p>	<p>① 大規模災害の原因として化石燃料から発生するCO₂の影響は否定できない。環境に配慮した生活などの取り組みが必要となる。マイカー通勤については個々やむを得ない部分もあるが、公共交通機関の利用や、現在取り組んでいる自転車によるまちづくりの一環で、自転車通勤の日（8の付く日）も設けている。エアコンの設定温度、昼休みの消灯、クールチョイス事業など家庭や学校を巻き込んだ取り組みも行っている。</p>
<p>② ハザードマップについて 新しいマップは最大雨量を想定した内容になっているか。避難場所の記載については、南町自治会は市民学習センター、商工会議所、EAGビルなど記載されているが、災害の種別により食い違いがあるようで疑問がある。</p>	<p>② 災害の種別による避難場所の選定は、継続的に精査する必要があると考えている。必要に応じて見直しを図りたい。 （マップの見方について、一部質問者の誤解あり）</p>
<p>③ 駅南北連絡通路について 昭和52年頃から話があり、63年頃に民間主導で計画をつくったが、当時の市長に否定され、結果として現在も実現していない。この計画に対する現在の市長の考えはどうか。</p>	<p>③ 計画はかなり具体化していたが、市の財政非常事態宣言で中止となった。駅前とあけぼの両地区が分断されているのはもったいないが、現行制度では改札の設置も連絡橋の計画に含む必要があり、試算では20億の事業費となる。当面は目途が立たないので、県やJRとの協議を継続している。</p>
<p>④ 萩・石見空港の防災拠点化について 空港の活性化推進協議会にて南海トラフ地震に対する防災拠点整備の活動をしている。平成29年に要望書を提出したが、対応困難との市長の言葉があり、その後江津以西で署名に取り組み千以上を集めた。国では亀井議員が衆院予算委で質問し、中川大臣は前向きな答弁をした。9月市議会に陳情し、意見書が可決された。市長はこの件を現在どう考えるか。</p>	<p>④ 活動については存じている。29年の私の回答については、ご要望の中に萩・石見空港が「廃港予定」との記載があり、それは事実ではなく、根拠をお尋ねしたと記憶している。地震への備えは重要で、できることを行っておかなければならないのは当然のことである。国・県の計画、特に県は原発を抱えており、そこからの避難を含めた計画をつくっている。この中で備蓄基地として東部は松江、西部は浜田の施設が指定されており、県として萩・石見空港を追加指定する考えはないということである。 空港施設の維持については東京線・大阪線の維持により果たすべく努力しているので、ご理解いただきたい。</p>
<p>⑤ 語り合う会の現状について せっかくの語り合う会だが参加者が少ない。自治会長などは率先して参加するよう呼びかけるべきで、市としてもこの会を魅力あるものとしてPRしてほしい。</p>	<p>⑤ おっしゃるように多くの方に参加いただくことが望ましい。告知端末による呼びかけ等も行っているが、中身を魅力あるものにする 것도大事だと思っている。</p>
<p>⑥ 国営開発農地分担金の時効消滅について （時効により徴収の根拠は失われたが）真面目に払ってきた人もいるので、簡単に不納欠</p>	<p>⑥ 現実に徴収できないものはやむを得ず不納欠損を行っているが、この分担金については処分を行っていない。市の認識が不十分であ</p>

<p>損としてはいけないし、最終的に税金による負担としてはいけないと思う。</p> <p>⑦ 高齢者の社会参加推進策について 他県の高齢者いきいき活動というもので、ボランティアに参加したらポイントがもらえるというものがある。高齢者が社会参加し健康長寿に効果がある。財源は、敬老会などに使う自治会の手当等を廃止して充てればよい。</p> <p>⑧ 市名誤記の問題について (空港マラソン関係の文書発送で) 益田市を「増田市」と誤記した封筒を使った問題で、市と業者どちらが誤ったのか。再印刷費は誰が負担するのか。また発注先が兵庫県の業者なのはなぜか。</p> <p>⑨ 柿本人麿顕彰施設について 雪舟記念館はあるが人麿を顕彰する施設がない。先に話のあった空港の備蓄基地を国に作ってもらい、その事業効果で県に万葉公園を整備してもらい施設を作ったらよいのではないか。あれば空港利用のツアーなど観光にも貢献するのではないか。</p> <p>⑩ 市役所裏の照明について 夜、市役所裏の自転車置き場の灯が消えると辺りは真っ暗になる。耐震化前は空調室外機辺りに水銀灯があり明るかったが現在は不安な状態であり改善を望む。</p> <p>⑪ 防災施設等の設置場所について 先日のハザードマップ説明会でわかりやすく説明していただいた。ただ備蓄倉庫や水防センターは、以前水害で浸水したところである。消防署の移転計画が伝えられているが、場所選定はそうした危険のないところで進めてほしい。</p>	<p>ったために時効中断の手続きを怠ってしまったことから発生した事態であり、関係職員の処分を行った。すでに払われた方、払っていただいている方との公平性を考え、未納分について任意で払っていただくをお願いしており、納入に結びついたケースもある。そうした努力を今後とも続けていきたい。</p> <p>⑦ 健康ますだ市21で取り組む内容にあたる。その中で効果的な内容について検討していく。財源が必要であれば何らかの方法で手当てをしたい。ただそれと自治会関連費用とは別問題として考える。</p> <p>⑧ 大変ご迷惑をおかけした。空港マラソンで、(経費削減のため)個人記録をとるタグの取扱いを変えたため、それを請け負った業者に文書発送も委託したが、結果誤記が生じた。去年は同じ業者が問題なく行っていたので、再発送により新たに生じた費用は業者負担としていただくよう協議している。</p> <p>⑨ 空港の備蓄基地化をきっかけにしてというお話で、問題は国にその考えがあるかということだと思う。今後よく調査していきたい。</p> <p>⑩ 状況をよく確認して、対応可能かどうか考えたい。</p> <p>⑪ 所管は広域組合となるが、益田市内に設置されることは間違いないので、消防署自身の防災という観点も含めて検討していきたい。</p>
--	--